

第2章 施設整備の基本的な考え方

1. 施設の整備方針と役割

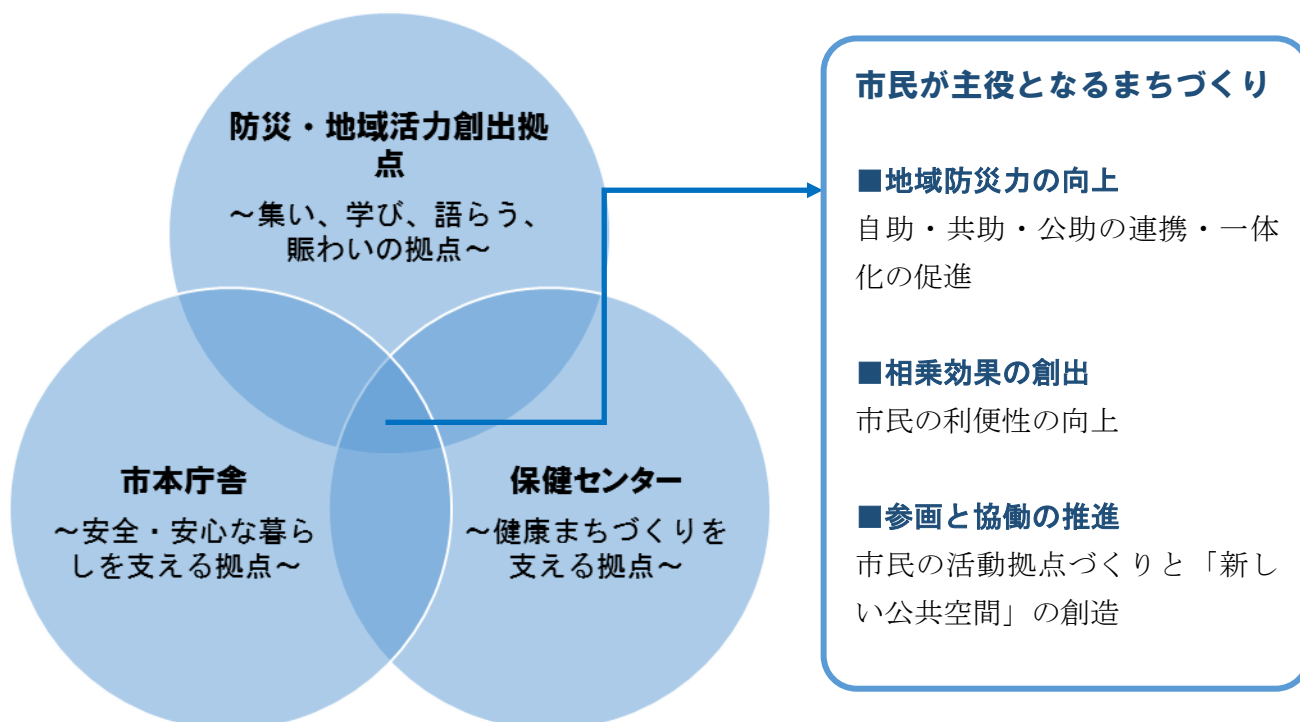
本計画では、基本構想で示した基本理念・基本方針の実現に向けて、「地域防災拠点施設」の整備方針と役割、導入する機能について、次のとおり整理します。

＜整備方針＞

「地域防災拠点施設」は、基本構想で示した事業検討の方向性のもと、「防災・地域活力創出拠点」、「市本庁舎」、「宮古保健センター」の3つの機能で構成します。

公共施設の集約、複合化・多機能化¹を図ることにより、施設全体として「市民サービスの向上」と「持続可能な行財政運営」、「地域活性化」を目指します。また、各施設（機能）間の連携により、「地域防災力の向上（自助・共助・公助²の一体化）」、「相乗効果による利便性の向上」、「協働事業等による利用者相互の交流の促進」などを生み出し、「参画と協働により、市民が主役となるまちづくり」の実現を目指します。

【各機能の配置イメージ】



¹ 複合化・多機能化：「複合化」とは、ハード面の観点から一つの土地・建物に複数の施設を集約させること、「多機能化」とは、ソフト面の観点から、一つの施設に複数の機能を持たせること。

² 自助・共助・公助：「自助」は、一人ひとりが自ら取り組むこと。「共助」は、地域や身近にいる人どうしが一緒に取り組むこと。「公助」は、国や地方公共団体などが取り組むこと。

＜地域防災拠点施設の役割＞

【平常時】

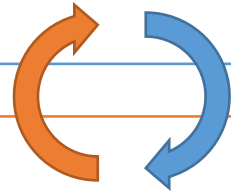
『歴史と自然に向き合い、新たな未来へ踏み出す、学びと交流と連携の場』として

- ①過去の災害の教訓を伝え、防災力や減災力を高める学びと体験の場
- ②幅広い市民の活動や交流、子育て世代や高齢者などを支える活動や交流の場
- ③市民ニーズに対応する行政サービス提供の場

【災害時】

『市民の安全・安心な暮らしを支える地域防災の場』として

- ①迅速かつ的確な対応を可能にする、災害対策本部の機能を有する拠点
- ②ライフラインの代替設備を保持し、一時避難者の受入機能を有する拠点
- ③被災者の支援活動や、物資の保管及び集配機能などを有する拠点



＜導入する機能＞

「地域防災拠点施設」に導入する機能を、次のとおり整理します。

（１）防災・地域活力創出拠点施設】

【平常時】①災害伝承機能、②生涯学習機能、③市民協働（交流・情報発信）機能

【災害時】①避難者支援機能

（２）市本庁舎

【平常時】①窓口機能、②執務機能、③議会機能

【災害時】①防災（災害対策本部）機能

（３）宮古保健センター

【平常時】①保健サービス提供機能

【非常時】①災害時（被災者支援）機能

（４）共通事項（その他の配慮すべき事項）

- ①駐車場・駐輪場、②ユニバーサルデザインへの対応、
- ③情報発信技術の高度化への対応、④地球環境への配慮、
- ⑤シンボル機能（景観・環境等）、⑥中心市街地活性化機能

2. 施設の構成及び機能

(1) 防災・地域活力創出拠点施設

～集い、学び、語らう、賑わいの拠点～

防災・地域活力創出拠点施設は、誰もが気軽に利用でき、市民が日常的に集い、憩える場所として計画します。災害に対して、「学ぶ・体験する・備える」を基本として、生涯をとおりて学び・学習の活動を継続することを支援し、市民の様々な交流を促進・誘発する拠点とします。

【平常時】

① 災害伝承機能

- ・東日本大震災の経験を伝え、防災教育・防災学習の機能を整備します。
- ・施設には、自然災害や防災に関する展示機能のほか、本市における東日本大震災に関する資料の収集・提供など、災害・防災に対する意識を高める機能を計画します。

●震災記憶の風化を防ぐ防災教育・防災学習

- ・東日本大震災の経験や教訓を次世代に伝承し、安全・安心な社会を構築するため、津波の被害や、過去の災害に関する写真や映像、各種資料の展示の検討
- ・情報発信・交流・イベント・体験学習等の機能を充実させることによる指導者の育成や、学校、職場、地域、自主防災組織と連携し、防災教育の充実を図れる場所づくりの検討
- ・ボランティアや市民団体の方が積極的に企画・運営・発信などを行う仕組みの検討

●災害に関する資料の収集、提供

- ・災害や防災に関する図書、震災の記録などを収集・整理し、提供できる機能の検討



写真 リアス・アーク美術館（気仙沼市）
出典：リアス・アーク美術館 HP より



写真 宮古市総合防災訓練

② 生涯学習機能

- ・近年のライフスタイル・価値観の多様化に合わせ、学習環境に対する市民のニーズも多様化してきています。文化・学習活動を通して、幅広い世代の交流、地域コミュニティの活性化・協働を促す場を目指します。

●幅広い世代の活動場所

- ・研修室、調理室、音楽スタジオ、創作活動室などの配置の検討

●健康づくり活動

- ・保健センターと連携して健康指導や軽運動教室などを実施し、高齢者などの日常的な健康づくりや“いきがい”づくりを図る機能の検討

●多目的ホール（成果発表の場所）

- ・市民の活動の発表の場（発表会、展示、会議など）、展示スペースなどに活用できる、フレキシブルな用途に対応できるホールの検討

●子育て支援機能

- ・子育て世代やサークル活動等への支援機能の配置の検討

③ 市民協働（交流・情報発信）機能

- ・自治会やNPO団体などの市民活動を活性化し、市民の参画と協働を推進するため、市民活動や交流を促す機能を検討します。

●協働のまちづくりのための活動スペース

- ・簡単な打合せ・交流などに、市民団体、ボランティアの皆さんなどが気軽に活用できるオープンスペースなどの配置の検討

●情報提供・発信、相談コーナー

- ・来庁者の行き来が多くわかりやすい場所に、市民生活に役立つ情報や市民活動に関する情報、イベント情報などを提供する情報スペースの配置の検討
- ・市民活動の相談にも応じ、市民活動をサポートする機能の検討



写真 アイーナいわて県民情報交流センター
出典：アイーナ HP より



写真 八戸ポータルミュージアムはっち
調理スタジオ
出典：はっち HP より

【災害時】

① 避難者支援機能

- ・東日本大震災のような発災時に、市民が拠点施設に一時避難できる場所を確保します。特に、高齢者、障がい者、幼児、外国人、旅行者などの災害時要支援者の一時避難機能に配慮し、諸室の構成や配置を検討します。
- ・市内の防災拠点、避難所などと連携し、被災者の支援活動を行うために必要な機能を確保します。

●一時避難者の受入れ

- ・ホール・会議室などの空間を、災害時の一時避難場所として活用
- ・商店街や駅利用者などのスムーズな避難行動を支援する施設として、駅に接続する自由通路の検討
- ・避難生活を支える設備（かまどベンチ、マンホールトイレなど）の検討

●ライフライン²の代替機能の保持

- ・洪水被害発生時にも安全が確保できる場所に、自家発電設備などの設置を検討
- ・停電や断水などに備えて、バックアップ設備（自家発電機、太陽光発電設備など）、耐震性緊急貯水槽などの配置の検討
- ・不測の事態に備えた情報機器の強化の検討

●救援物資や備蓄物資の確保

- ・一時的な非常食や防災資機材（非常食、飲料水、乳児用品、飲食用品、炊き出し用品、簡易トイレ、防災テント、避難所生活用品、救護用品など）を備蓄するための倉庫の配置の検討
- ・大災害の発災時に、遠方から運ばれる支援物資の保管・集配機能の検討



写真 長岡京市マンホールトイレ
出典：長岡京市 HP より



写真 耐震性貯水槽
出典：堺市 HP より

³ ライフライン：生活の維持に必要不可欠な、電機・ガス・水道・通信・輸送などを指す

（２） 市庁舎（本庁舎）

～安全・安心な暮らしを支える拠点～

市庁舎（本庁舎）は、耐震性、防火性など、建物自体の安全性を確保するとともに、災害時の危機管理、災害復旧の拠点として、迅速な対応ができる施設整備を検討します。

また、平常時は、誰もが利用しやすく親しみが持てる空間として計画します。

【平常時】

① 窓口機能

- ・来庁者へのサービスの向上を図るためのワンストップサービス⁴の維持充実を図るなど、市民ニーズの多様化に対応した、窓口機能や相談機能などについて整備を図ります。

●市民の利便性の高い窓口機能

- ・来庁者が迷わずスムーズに相談・手続きができるよう、総合案内窓口におけるワンストップサービスの充実、わかりやすい案内標示についての検討
- ・市民が利用する部署をできる限り低層階に集中させ、来庁者の利便性に配慮
- ・お子様連れの利用者に配慮し、子供待合コーナーの設置の検討

●プライバシーに配慮した相談機能

- ・用途に応じた窓口や相談スペースなどを適切な場所に配置することを検討し、プライバシーに配慮



写真 青梅市役所 窓口
出典：青梅市 HP より



写真 キッズコーナー
出典：箕面市 HP より

⁴ ワンストップサービス：複数の窓口で関連する手続きをする必要があった煩わしさを解消するために、1つの窓口や1つのフロアで複数の課の手続きを行うことができる窓口サービスのこと

② 執務機能

- ・ 執務室・会議室は、職員が将来にわたり、効率的・効果的に執務を行う空間とするとともに、関係部署同士の連携が容易となる配置とします。

● 執務室

- ・ 職員からも来庁者の姿が確認できる開放的な執務空間に配慮
- ・ 職員と来庁者の動線ができるだけ重ならないよう配慮
- ・ 十分な階高や天井高を確保し、今後の組織改編や高度情報化社会の進展、職員数の変化、事務システムの変化に適應できる柔軟な空間の構成に配慮

● 会議室・打合せスペース

- ・ 利用人数やフロア構成にあわせた会議室を適正位置に配置し、多様な規模や用途に対応できるよう可動間仕切り等の導入を検討
- ・ 執務室に日常的な打合せや協議ができるスペースの確保
- ・ 情報通信機器の利用に柔軟に対応できる電源や配線の確保

● 書庫・収納スペース

- ・ 書類等の保管スペースについては、業務内容を考慮した適正な規模や数量を確保
- ・ 重要書類等の保管室については、必要に応じたセキュリティ対策の導入



写真 青梅市役所 執務室
出典：青梅市 HP より



写真 多目的ホール（行政センター）
出典：太田市 HP より

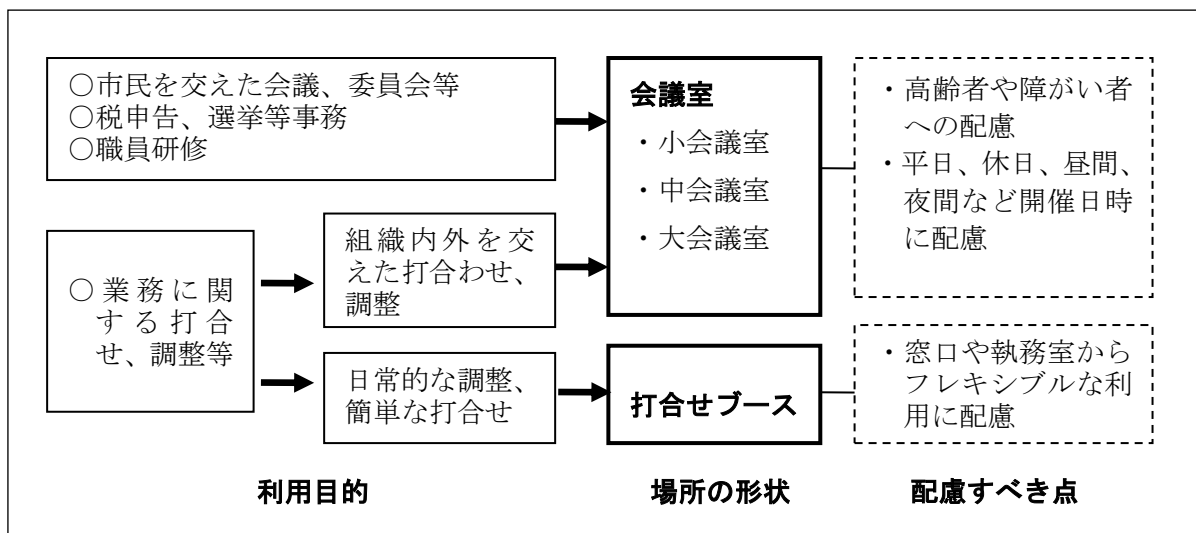


図 会議スペースの考え方

③ 議会機能

- ・議場及び関連諸室は、1つのフロアに集約し、議会の格式・独立性を保ちつつ、市民にとって開かれた空間を目指します。

●議場・委員会室等

- ・議場や委員会室などの議会関連施設は、その他の部署とは明確なゾーニングを行い、議会の独立性を確保
- ・議員の増減等に対応できるシンプルな空間の検討
- ・議会開会中に限らず、日頃から市民が気軽に訪れることのできる開放的で親しみやすい設備・間取りとなるよう検討

●傍聴空間

- ・議会関連施設への動線に配慮し、誰もが見やすく、聴きやすく、出入りしやすい傍聴席となるよう配慮
- ・本会議のモニター中継やインターネット配信など、情報発信環境の充実の検討



写真 青梅市役所 議場
出典：青梅市 HP より



写真 アオーレ長岡 議場
出典：アオーレ長岡市 HP より

【災害時】

④ 防災（災害対策本部）機能

- ・災害時には本庁舎内に災害対策本部を設置し、情報の迅速な収集・把握、関係機関との連絡調整、救援活動や復旧活動の指揮を行う危機管理・災害対応の拠点となります。

●災害対策本部

- ・災害警戒時及び災害発生時において、災害対策本部の開設に対応できる会議室の整備の検討
- ・情報通信設備機器、専用の電話回線、大型モニターなどの防災関連機器の設置の検討
- ・情報収集、指令発信機能は、情報管理の面から十分なセキュリティの確保に配慮

●危機管理、災害復旧の拠点としての事業継続機能性

- ・耐震性、防火性など、庁舎自体の安全性の確保
- ・災害時の危機管理、救援活動、災害復旧の拠点として、被災情報を的確に把握し、地域の防災拠点、各防災組織や関係機関と連携し、迅速な対応、対策がとれる機能の検討
- ・停電や断水などに対するバックアップが図られるよう配慮

●行政情報を確実に守る

- ・サーバーや非常用電源装置等の機器、保存文書等を大規模災害や洪水被害発生時に安全が確保できる場所に設置することを検討

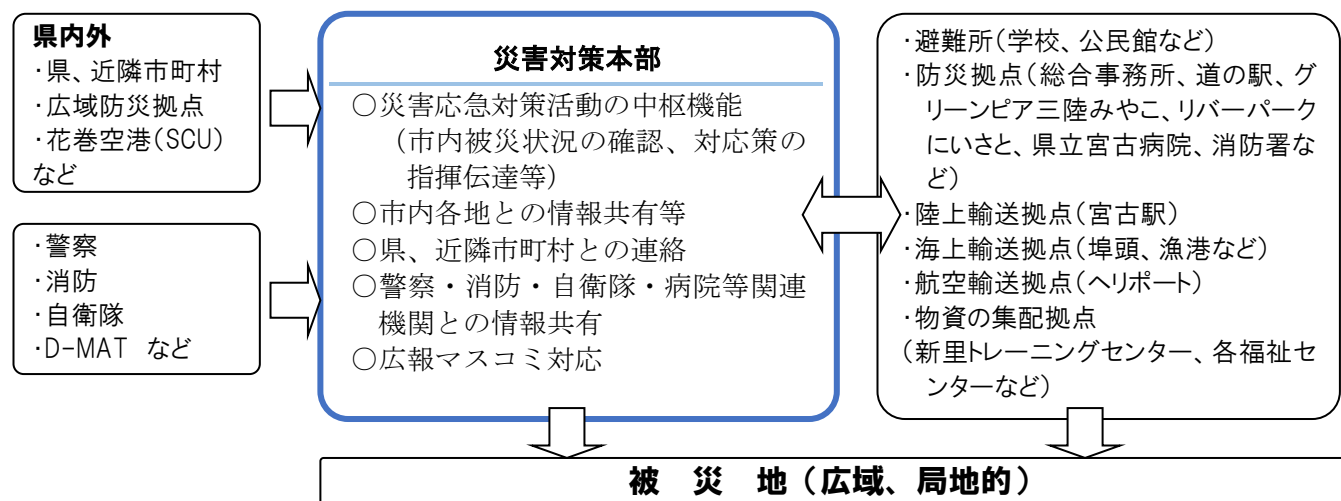


図 災害対策本部の機能

(3) 宮古保健センター

～健康まちづくりを支える拠点～

市民の健康を守る拠点として、これまでの機能を強化し、身近で気軽に相談できる総合的な窓口としての機能充実を図り、多様なサービスを提供します。また、防災・地域活力創出拠点機能と連動し、市民の健康づくりの中心となる施設とします。

【平常時】

① 保健サービス提供機能

- ・保健センターは、地域の実情にあわせた保健活動を行う施設として、被災した機能を復旧し、市庁舎などとの連携により、その機能を十分に果たせるよう配慮します。
- ・健康相談や診察等におけるプライバシーの確保をはじめ、栄養指導や調理研修、乳児健診などにも対応できる機能を整備します。

●保健行政機能

- ・保健活動における計画の立案や各種情報の発信・収集を行う場として整備

●保健・健康指導、健診など

- ・健康増進や母子保健、成人保健や介護予防等の実践の場として、各種健診や健康相談などの保健サービスを提供する諸室を配置

●住民活動支援

- ・市民自らが行う健康づくりのための活動支援や活動の場の検討

【災害時】

② 被災者支援機能

- ・東日本大震災などによる地震・津波災害、台風や豪雨による風水害その他自然災害などの発災時、感染症などの発生時において、保健センターは、多くの負傷者や被災住民に対し、関係機関と連携して、応急医療や健康管理などを迅速かつ的確に対応する必要があります。

●大規模災害時など、緊急時における保健医療の活動拠点

- ・地震災害・風水害など、自然災害時において、多くの負傷者や被災住民に対し、医療チーム等の活動支援拠点として利用できる機能の配置

(4) その他（共通事項）

① 駐車場・駐輪場

- ・一般車両用駐車場スペース、車いす使用者・妊産婦等駐車スペース、公用車駐車スペース、駐輪場等を明確に区分し、安全で利便性の高い構成とします。

●誰もが安心して使える駐車場空間

- ・施設へのスムーズなアクセスが行えるよう、利用者の使いやすさに配慮
- ・駐車場から庁舎までの間に、歩行者と自動車を明確に区分した動線の確保
- ・施設への出入り口付近に、車いす使用者・妊産婦などのための優先的な駐車スペースの確保
- ・駅や商店街の利用者なども利用できるような仕組みの検討

●駐輪場

- ・自転車と自動二輪車・原動機付自転車の分離等、安全性や動線に配慮して設置

●災害時の物資搬送、復旧対応など

- ・災害時や緊急車両のアクセス、駐車スペースの確保
- ・災害時には、物資の保管・集配機能として活用できるよう検討

●その他

- ・公用車駐輪場は、来庁者の歩行や一般車両等の通行に影響が少ない位置に配置
- ・物資の納入、宅配ほか、ごみ収集車などの大型車両の荷さばきスペースの確保



写真 青梅市役所 駐車場
出典： 青梅市 HP より



写真 岡崎市矢作橋駅 駐輪場

② ユニバーサルデザインへの対応

- ・年齢、性別、能力、文化、身体状況などに関係なく、全ての人が安心して、快適に利用しやすい施設とするため、ユニバーサルデザインの理念に基づいて整備を行います。
- ・「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー新法）」及び岩手県の「岩手県ひとにやさしいまちづくり条例」に基づき施設整備を行います。

●空間計画

- ・出入口、廊下、階段、エレベーター等の移動空間は、車いす利用者や、高齢者、小さな子ども等が安全に移動できるようバリアフリー⁵の配慮
- ・施設のスムーズな移動に配慮し、エレベーターを適切に配置
- ・誰もが安心して使える駐車場と、施設への安全な動線の確保
- ・敷地内は極力段差をなくし、誰もが安全に移動できるように整備
- ・窓口には、利用者や目的に応じた高さのカウンターの設置
- ・小さな子ども連れの方が安心して来訪できる施設
- ・来訪者が気軽に利用し、憩うことのできる休憩スペースの設置

●トイレ計画

- ・車いす利用者、オストメイト、オムツ換え対応等のできる多機能トイレの設置

●サイン計画

- ・来庁者にとって分かりやすい案内表示方法、文字の色彩、大きさなど、見やすく、分かりやすい案内表示の検討



図 高度なバリアフリー化へのイメージ

出典：国土交通省ホームページより

⁵ バリアフリー：障がい者・高齢者などの生活弱者のために、建物の段差など生活に障害となる物理的な障害の削除を行うもの

③ 情報通信技術の高度化への対応

- ・行政サービスの向上、事務の効率化を推進するため、情報通信技術の高度化に対応した、電子自治体の構築などに対応できる施設として整備します。

●高度化への対応

- ・今後の情報通信技術（ICT⁶）の高度化や、それに伴う事務システムの変化にも柔軟に対応できる設備の導入
- ・来訪者の多い場所に、市政情報や様々な案内情報を掲示できるディスプレイの設置など、デジタルサイネージ⁷の検討
- ・来訪者がモバイル端末⁸等を利用して、気軽に市政情報を収集できるように公衆無線LANの環境整備の検討

●セキュリティ対策

- ・市民の情報を守り、信頼性の高いサービスを提供するため、高度なセキュリティ対策と個人情報の保護対策の確保
- ・高度なセキュリティ対策及び耐震対策を講じた電算室の確保
- ・システム保全が災害時においても万全に図られるよう配慮

●バックアップ機能

- ・不測の事態に備え、情報システムや電気設備等のバックアップ機能の整備

④ 地球環境への配慮

- ・再生可能エネルギー⁹の活用による自然環境への負荷の低減、建物の長寿命化、ライフサイクルコスト¹⁰の縮減など、本市に適した環境共生の取り組みを行います。

●環境負荷の低減

- ・自然採光や自然換気、高効率な設備機器を積極的に採用し、省資源・省エネルギーに努め、施設が周辺環境に与える負荷の軽減
- ・エネルギー消費量の削減を図るため、ビル管理システムの導入の検討

●地球環境に優しいエネルギーの導入

- ・太陽光発電など、再生可能エネルギー、省エネルギー型の設備機器の積極的な導入を具体的に検討

●地球環境に優しいライフサイクルコストの縮減・長寿命化

- ・耐久性に優れた構造体を採用することで、災害時の耐久性の向上、長寿命化に配慮
- ・建物の部位・部材や設備機器等には維持管理や更新が容易な設備の導入を図り、ライフサイクルコストの縮減と長寿命化に配慮

●地産地消などによる整備

- ・地元産材、エコマテリアル¹¹を新庁舎の建築資材等に積極的に活用

⁶ ICT（情報通信技術）：コンピューターやインターネットに関連する情報通信技術

⁷ デジタルサイネージ：表示と通信にデジタル技術を活用してディスプレイやプロジェクタなどにより映像や情報を表示する広告媒体のこと

⁸ モバイル端末：持ち運べる情報端末装置のこと。小型ノートパソコン・携帯電話・スマートフォンなど

⁹ 再生可能エネルギー：「エネルギー減として永続的に利用することができると認められるもの」とする、太陽光、風力、水力、地熱、大気中の熱その他自然界に存する熱、バイオマスなどのこと

¹⁰ ライフサイクルコスト：製品や構造物などについて、その対象物の企画、設計から、竣工、運用を経て、修繕、耐用年数の経過により解体処分するまでの全期間に要する費用

¹¹ エコマテリアル：優れた特性・機能を持ちながら、より少ない環境負荷で製造・使用・リサイクルまたは廃棄でき、人に優しい材料

⑤ シンボル機能（景観・環境等）

- ・宮古駅へ訪れた人が最初に目にする施設、市民が日常的に利用する施設であることから、本市を代表する新たな拠点としてシンボル性をもつ施設、周辺景観との調和に配慮しつつ憩いのある空間として計画します。

●宮古市の顔としての演出

- ・本市の「顔」の1つである宮古駅前に立地するため、周辺地域のまちのイメージだけでなく、本市の都市イメージを高め、まちへの愛着心・誇りが育まれるシンボル性を有するデザインのある施設の検討

●周辺の街並みに配慮した景観

- ・施設は、華美な要素を排除するとともに、シンプルで機能的な建物とし、周辺景観環境と調和した配置・意匠・緑化等の検討
- ・大きな施設群が地域を分断することを避けるため、周辺環境・景観を意識した施設のボリュームの検討
- ・建物や広場、駐車場等の配置のバランスに留意し、快適な空間づくりに配慮

●屋外広場、緑化

- ・来訪者が四季を通じて、くつろげる空間を演出するため、屋外広場の検討
- ・イベント等を開催できる屋外広場は、施設（屋内）と屋外、または中心市街地の関わりを積極的に創造するような、親近感がもてる空間を検討
- ・本市の環境や街並みに合った植栽を計画し、周辺の緑環境と調和した良好な景観の形成に配慮

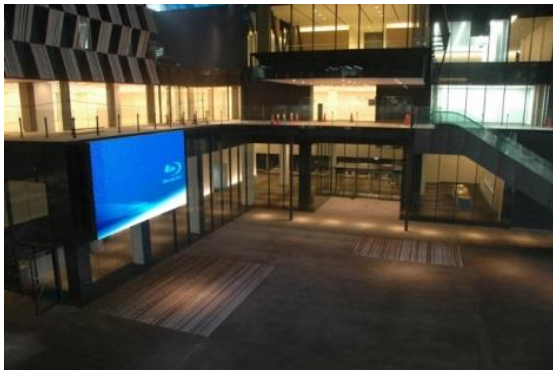


写真 長岡市役所 中土間
出典：長岡市 HP より



写真 台東区役所 屋上緑化
出典：台東区 HP より

⑥ 中心市街地活性化機能

- ・当該計画地は、宮古駅に隣接する好立地であることから、商店街、魚菜市場、観光案内所などの中心部の観光資源のほか、道の駅や浄土ヶ浜、その他観光資源など視野に入れて、各施設を「点」ではなく、回遊、周遊させていく仕組みと機能を検討します。
- ・事業企画、運営のあり方に市民が参画することで、中心市街地の活性化や新たな市民サービス・新たなコミュニティの創出につなげていくことを目指します。

●自由通路（歩行者用デッキ）

- ・駅の南北を自由通路でつなぎ、駅北側から来訪者のアクセスを確保し、あわせて中心市街地への誘導による賑わいの創出

●屋外広場など

- ・「防災・地域活力創出拠点」、「市本庁舎」、「宮古保健センター」の3つの施設に隣接する位置に屋外広場を計画するなど、各施設と周辺市街地との連携を図る機能・空間の検討

●観光等、情報発信

- ・宮古観光案内所などと連携し、情報共有を行い、防災学習等を目的とした防災体験観光、商店街と連携したまちなか観光の誘客につながる仕組みの検討

●公共交通の利便性向上

- ・鉄道利用や商店街利用の促進、利便性向上などを図る取り組みの検討



写真 長岡市 ペDESTリアンデッキ
出典：長岡市 HP より



写真 青梅市役所 屋外広場
出典：青梅市 HP より